

**スマートシティたかまつ推進ビジョン  
アクションプラン**

**令和7年度版**

**高松市**

**令和7年(2025年)3月**

## アクションプランについて

スマートシティたかまつ推進ビジョン(2025～2031)で定めた目指す姿の実現に向けて、同ビジョンで定めた施策体系ごとに各取組を推進します。

また、現時点でアクションプランに登載していない分野の取組についても、検討が具体化した段階で、アクションプランに登載していきます。

### 1. 施策体系別事業

#### (1) 施策体系

##### 施策1 くらしのDX ～デジタルでつながる快適なくらし～

子育て、福祉・医療、健康、教育、交通、まちづくり等、皆さんのくらしをデジタル技術で快適にするべく推進している取組を整理しています。

1. デジタル化による子育て環境の充実
2. ゼロカーボンシティの実現に向けたエネルギー利用の最適化
3. 地理空間データ基盤を活用したサービスの創出
4. 中心市街地の活性化に向けたデータ収集・分析
5. タクシーを活用した新たな交通モードの創出
6. 駐車場の満空情報の収集と利活用
7. 学校教育におけるデジタル化の推進
8. こどもの学びを地域で支える地域学習プラットフォームの利活用推進
9. 図書館のデジタル化・デジタルアーカイブの推進

##### 施策2 しごとのDX ～誰もが活躍できる魅力あるまち～

本市固有の地域資源や産業における、デジタル技術やデータの利活用により、地域経済の持続的な発展に向けた取組を整理しています。

10. 市内中小企業等のデジタル化支援
11. 購買データの活用によるサービス提供

12. 情報通信関連企業の誘致
13. サテライトオフィスの誘致
14. スマート農業の推進
15. デジタルを活用した高松盆栽の普及事業
16. 音声ガイドアプリを活用したコンテンツツーリズムの推進
17. 屋島活性化に向けたデジタル活用

### 施策3 行政のDX ～市民目線によるスマートな行政～

子どもから高齢者まで全ての市民と本市を訪れる人にとって、利便性の高い行政サービスの提供に向けた取組を整理しています。

18. 市からの情報発信の高度化
19. 窓口DXの推進
20. 業務改革に資するツール等の導入
21. 地理空間データ基盤のデータ・機能拡充

### 施策4 人材育成と基盤強化 ～持続可能な社会の形成～

本市のデジタル化を進める上では、我々市職員をはじめとした人材育成と、取組を持続的に成長させるための基盤強化が必要であり、それらに資する取組を整理しています。

22. デジタル化への職員の意識改革（デジタル人材の育成）
23. デジタル化に対応した職員の情報セキュリティ意識の向上
24. スマートシティたかまつ推進協議会との連携
25. オープンデータの推進
26. 地域間連携の促進
27. データ利活用人材の育成と人材コミュニティの創出
28. 地域コミュニティを中心としたデジタルデバイド対策
29. 地域コミュニティのデジタル化支援

## 施策別体系事業のページの見方

①	取組 NO.	24		
	取組項目	スマートシティたかまつ推進協議会との連携		
	担当課	デジタル戦略課	区分	新規
②	事業概要	<b>【現状・課題】</b> 平成 29 年に設立された産学民官の多様な主体で構成されるスマートシティたかまつ推進協議会と連携しながら、ICT やデータを活用した地域課題の解決に向け、これまで様々な分野で取組を推進してきた。 設立から 7 年ほどが経過し、協議会会員も増加し、デジタル社会を取り巻く情勢も大きく変化してきたことにより、協議会の目的が薄れてきている。また、設立当初に比べ、ワーキンググループでの検討等、協議会活動が低迷しており、持続的な協議会運営を進めていくためにも、協議会活動の活性化が必要である。		
		<b>【取組内容】</b> 行政主導の下、様々な主体の積極的かつ自発的な行動につながるような手法の検討や働きかけを実施する。 具体的には、行政が把握している地域課題や行政課題を明確化し、協議会会員に提示することで、協議会会員からの解決策の提案を募ることにより、行政が主導的な役割を果たし、協議会活動の活性化を推進する。		
③	スケジュール	R7	R8	R9
		課題の把握、会員への提示 協議会内で課題解決に向けた議論の実施		
④	目標値 (見込値)	内容		
		本市から協議会会員への課題提示件数の累計 (件)		
	R7	R8	R9	
	5 件	6 件	7 件	
現況値 (見込値)	R6			
	4 件			

①取組の「取組 NO」、「取組項目」、「担当課」、「新規・継続」の区分を示しています。  
 ※R7 年度版のアクションプラン掲載取組については、同プランの初年度であることから、全て区分を「新規」としています。

②取組の概要を「現状・課題」、「取組内容」の順に整理しています。

③直近 3 年間分の取組スケジュールを示しています。

④記載が可能なものについて、取組の目標値（見込値）を示しています。

(2) 施策体系別事業一覧

施策体系1 くらしのDX ～デジタルでつながる快適なくらし～

取組 NO.	1		
取組項目	デジタル化による子育て環境の充実		
担当課	こども保育教育課	区分	新規
事業概要	<p><b>【現状・課題】</b></p> <p>保育現場では、日々の保育に加え、日誌等の書類作成や保護者対応等を限られた人員で行っており、子ども一人一人の状況に合わせた、きめ細やかな支援が必要な児童の入所が増加していること等により、保育士等が、子どもや保護者一人一人に丁寧に向き合うための十分な時間が確保できていない状況である。</p> <p>このため、保育士等の業務負担を軽減し、保育士等が生き生きと働ける職場環境の整備が課題となっており、これらを解決し、より質の高い保育を提供するためには、保育業務支援システムを導入し、業務効率化により子どもや保護者と向き合う時間を確保する等、保育現場におけるDXの推進が必要である。</p>		
	<p><b>【取組内容】</b></p> <p>保育士等の業務負担の軽減と、質の高い保育の提供及び保護者の満足度向上のため、園児の登降園管理、保護者のスマートフォンを利用した欠席連絡やお便り配信、保育業務に関する各種帳票作成の機能等を備えた保育業務支援システムを全ての市立保育施設へ導入する。</p> <p>また私立保育所等においても同様の課題があり、それらの解決のため、保育に係る計画や記録に関する機能・園児の登降園管理・保護者との連絡に関する機能、キャッシュレス決済に関する機能を導入する場合に、補助金を支給し、導入支援を行う。</p>		
スケジュール	R7	R8	R9
目標値 (見込値)	内容		
	—		
	R7	R8	R9
現況値 (見込値)	—	—	—
	R6		
	—		

取組 NO.	2		
取組項目	ゼロカーボンシティの実現に向けたエネルギー利用の最適化		
担当課	ゼロカーボンシティ 推進課	区分	新規
事業概要	<p><b>【現状・課題】</b></p> <p>近年、全国各地で台風の巨大化や集中豪雨等による災害、猛暑が発生する等、生命や財産を脅かす「気候危機」と言われる状況にあり、被害の拡大を防ぐため、地球温暖化・気候変動に配慮した取組の検討が課題となっている。</p> <p>本市が令和 2 年 12 月に宣言した「ゼロカーボンシティ」の達成を目指し、データを活用した省エネ・再エネ等の取組を検討する必要がある。</p>		
	<p><b>【取組内容】</b></p> <p>住宅や事業所等でのエネルギーマネジメントシステムの導入を促進し、電力使用量や CO2 の排出量・削減量等の見える化を進め、住民や企業の省エネ等への行動変容を促す。</p> <p>また、交通・産業等の分野へのデータ連携の拡大による見える化のさらなる拡大や、エリア単位でのエネルギーマネジメントシステムの整備等について、検討を進める。</p>		
スケジュール	R7	R8	R9
	住宅・事業所へのエネルギーマネジメントシステムの導入促進		
	大規模なエネルギーマネジメントシステムの整備等に向けた検討		
目標値 (見込値)	内容		
	—		
	R7	R8	R9
現況値 (見込値)	—	—	—
	R6		
	—		

取組 NO.	3		
取組項目	地理空間データ基盤を活用したサービスの創出		
担当課	都市計画課 デジタル社会基盤整備 室	区分	新規
事業概要	<p>【現状・課題】</p> <p>人口減少、少子・高齢化社会の本格的な到来を見据え、持続可能なまちづくりを進めるため、令和4年度に構築した地理空間データ基盤を活用し、インフラ台帳と民間保有データを連携させ、地図上で可視化できるアプリケーションを構築し、バックヤード側の業務のBPRとデータ連携による新たなサービスの創出に取り組んでいる。</p> <p>令和4年度には、市民向けの防災Webアプリケーション「たかまつマイセーフティマップ」を公開しているほか、令和5年度には、水防本部や消火活動のBPRを図るため、水防アプリケーション、消防アプリケーションを構築している。</p>		
	<p>【取組内容】</p> <p>災害対応・消火活動の迅速化を図るため、本格運用を開始する水防・消防アプリケーションや、県や民間事業者と連携して実装した駐車場情報アプリケーション、タクシー配車分析アプリケーションを活用し、都市経営の最適化を図る。</p> <p>また、さらなる業務の棚卸に取り組み、業務のBPRを進める。そして、民間事業者も含めた活用事例を拡充させ、官民連携による持続可能なまちづくりに取り組む。</p>		
スケジュール	R7	R8	R9
	水防・消防アプリケーションの本格運用	水防・消防アプリケーションの継続運用	
	業務のBPR及びサービスの検討・創出		
目標値 (見込値)	内容		
	地理空間データ基盤上で提供されるサービス数(件)		
	R7	R8	R9
	8件	9件	10件
現況値 (見込値)	R6		
	7件		

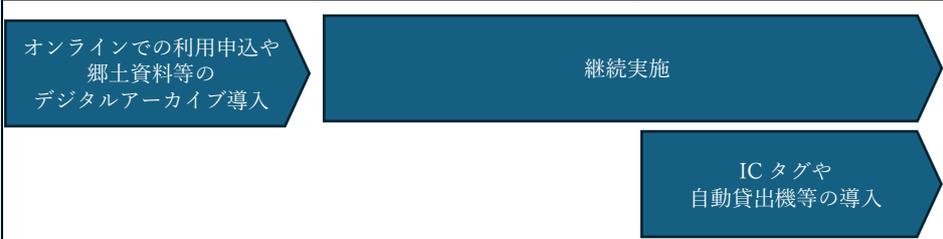
取組 NO.	4		
取組項目	中心市街地の活性化に向けたデータ収集・分析		
担当課	都市計画課 住宅まちづくり推進室	区分	新規
事業概要	<p><b>【現状・課題】</b></p> <p>本市では、中心市街地の活性化に向けて、「中心市街地活性化基本計画」を策定し、活性化に向けた様々な事業を実施している。このうち回遊促進の効果を測る目標指標に中心市街地の歩行者等通行量を定めており、令和元年10月より、中央商店街の15地点に人流カメラを設置し、年間を通して24時間365日計測している。</p> <p>人流カメラ設置から5年ほどが経過し、人流カメラにおける通行量調査の長期継続契約が令和6年度末で終了することから、今後も継続的に通行量を計測していくために、維持管理コスト削減や、中心市街地の商店街をはじめとする各主体が、当該データを活用閲覧ができるような、新たな通行量調査システムの手法に向けた検討が必要である。</p>		
	<p><b>【取組内容】</b></p> <p>令和6年度末に、中央商店街の各定点に設置している歩行者通行量調査システム機器を更新し、歩行者等の通行量を計測し、年間を通じて、安定的に通行量のデータを収集・分析できる環境を整備する。</p> <p>また、取得したデータについては、オープンデータでの公開を検討する。</p>		
スケジュール	R7	R8	R9
	新システムの運用開始		
	収集データの分析・活用検討		
	収集データのオープンデータ化		
目標値 (見込値)	内容		
	—		
	R7	R8	R9
	—	—	—
現況値 (見込値)	R6		
	—		

取組 NO.	5		
取組項目	タクシーを活用した新たな交通モードの創出		
担当課	交通政策課	区分	新規
事業概要	<p>【現状・課題】</p> <p>仏生山・川島地区において実証事業を行ってきたバタクスについて、「日中の区域運行」を、令和7年1月から社会実装した。一方、朝・夕の「路線予約定期運行」については、更なる需要の見極めと検討を行うため、実証期間を半年間延長（令和7年7月11日まで）することとしている。</p> <p>また、高松タクシー協会が、タクシーの需要に応じた供給の最適化を図る仕組みとして、配車アプリの実証運行を開始し、令和7年4月からの本格運行を目指している。またバタクスの運行に当たっては、システム利用料が高額となっているため、当該配車アプリの活用により、経費の削減が必要である。</p>		
	<p>【取組内容】</p> <p>当該配車アプリにバタクス予約機能を追加することにより、システム利用料を削減するとともに、利用者の利便性向上を図る。</p> <p>また、アプリから取得したデータを、本市の地理空間データ基盤と連携させることで、タクシーの需要バランスや、新たなサービス創出の可能性を検証する。</p>		
スケジュール	R7	R8	R9
	区域運行の社会実装		
	路線予約定期運行の実証継続	他地区におけるバタクスの水平展開を検討	
	配車アプリへバタクス予約機能の実装 取得した配車データの活用	取得した配車データの活用・他分野データ連携の検討	
目標値 (見込値)	内容		
	—		
	R7	R8	R9
	—	—	—
現況値 (見込値)	R6		
	—		

取組 NO.	6		
取組項目	駐車場の満空情報の収集と利活用		
担当課	交通政策課	区分	新規
事業概要	<p>【現状・課題】</p> <p>現在、サンポートエリアにおいては、集客を伴う施設の整備が進んでおり、令和7年2月には県立アリーナが開業する。アリーナへ自動車で来訪する人が増え、道路混雑を発生させることが懸念されており、この問題の解決に向け、目的地周辺駐車場の満空情報を事前に利用者等に提供するシステムを構築するため、香川県と連携・協議を進めている。</p>		
	<p>【取組内容】</p> <p>令和7年2月から運用開始した、駐車場の満空情報を可視化するシステムの運用を行う。</p> <p>また県営・市営駐車場だけでなく、民間駐車場の満空情報も登載することで、利用者等の利便性が向上するため、香川県と連携し、システムへの民間駐車場の更なる参画を促す。</p>		
スケジュール	R7	R8	R9
	システム運用		
	香川県と連携し、民間駐車場の参画を促進		
目標値 (見込値)	内容		
	—		
	R7	R8	R9
現況値 (見込値)	—	—	—
	R6		
	—		

取組 NO.	7		
取組項目	学校教育におけるデジタル化の推進		
担当課	総合教育センター ICT教育推進室	区分	新規
事業概要	<p><b>【現状・課題】</b></p> <p>国の GIGA スクール構想を受け、令和 2 年度末に児童生徒用一人一台端末を整備し、令和 3 年度から本格運用を開始した。また、令和 5 年度より端末の本格持ち帰り運用を学校の実態に応じて段階的に開始し、各学校において、学校教育における ICT の活用が進んでいる。</p> <p>取組が進んでいる一方、学校間や教員間における ICT 活用指導力に差が見られる。令和 6 年度全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙では「前年度までの授業で PC・タブレット等の ICT 機器を週 3 回以上使用している」と回答した児童生徒の割合は前年度より向上したものの、全国・県平均を下回っている。</p>		
	<p><b>【取組内容】</b></p> <p>教員研修の充実と ICT を活用した有効な実践等の紹介により、教員の ICT 活用指導力の向上を図る。また、ICT 支援員を配置し、学校現場での支援の充実により、端末活用率及び教員の ICT 活用指導力の向上を図る。</p> <p>また、モデル校において、一人一台端末の日常使用による先進的な取組を行う。さらに、その実践を公開し、各学校への横展開を図る等、学校教育における ICT 活用の促進を図る。</p>		
スケジュール	R7	R8	R9
	ICT 活用研修の実施（基本研修を含む）		
	ICT 支援員の配置（4 月～3 月）		
	モデル校での実証研究		
	一人一台端末の更新（R8.3 月～R13.2 月末）		
目標値 (見込値)	内容		
	前年度までに受けた授業で、PC・タブレット等の ICT 機器を週 3 回以上使用したと回答した児童生徒の割合（％）		
	R7	R8	R9
	小学校：72.0％ 中学校：62.0％	小学校：86.0％ 中学校：81.0％	小学校：100％ 中学校：100％
現況値 (見込値)	R6		
	※ R6 年度の状況は、令和 7 年度 4 月に実施される同調査によって調査され、結果が同年 9 月末に公表されるため、不明。		

取組 NO.	8		
取組項目	こどもの学びを地域で支える地域学習プラットフォームの利活用推進		
担当課	デジタル戦略課	区分	新規
事業概要	<p><b>【現状・課題】</b></p> <p>令和5年度に、こどもの学びを地域で支えるための「地域学習プラットフォーム」を構築し、こどもの興味や好奇心と地域の企業や団体等が持つ様々な情報を、デジタル技術で連携させて、こどもの学習や体験の選択肢を広げるまちづくりを目指し、取組を推進している。</p> <p>継続的な事業推進のためには、利用するコンテンツの充実や教育現場・本事業に参画する企業等、多様な関係者がメリットを感じられる仕組みづくりが必要であり、それらの推進に向けた検討が必要である。</p>		
	<p><b>【取組内容】</b></p> <p>利用者増加のため、現在構築している地域学習プラットフォームの機能拡充やコンテンツの充実を図り、本事業の普及を促進する。</p> <p>また、令和8年度からの事業実施を担う地域学習コンソーシアム（仮称）の設立を支援する。</p>		
スケジュール	R7	R8	R9
	<p>地域学習プラットフォームの機能拡充</p> <p>コンテンツの充実に向けた検討</p> <p>普及事業の実施</p> <p>地域学習コンソーシアム（仮称）の設立</p>	<p>地域学習コンソーシアム（仮称）による事業推進</p>	
目標値 (見込値)	内容		
	地域学習プラットフォーム利用人数（人）		
	R7	R8	R9
	6,700人	—	—
現況値 (見込値)	R6		
	1,495人		

取組 NO.	9		
取組項目	図書館のデジタル化・デジタルアーカイブの推進		
担当課	中央図書館	区分	新規
事業概要	<p>【現状・課題】</p> <p>現在、高松市図書館では、司書を始めとする図書館職員が貸出・返却等のカウンター業務を手作業で行っているため、事務負担が大きく、資料の無断持ち出しも後を絶たない状況である。</p> <p>また、利用申込や禁帯出の郷土資料の閲覧にあたっては、利用者は図書館にわざわざ来館しなくてはならないため、利用者の利便性向上と職員の負担軽減のために新たな取組が必要となっている。</p>		
	<p>【取組内容】</p> <p>司書を始めとする図書館職員の事務負担軽減により、職員が選書やレファレンスといった専門的な業務に専念でき、利用者により質の高い図書館サービスを提供することができる等、利用者の利便性向上のため、IC タグや自動貸出機、セキュリティゲート等を導入する。</p> <p>また、利用者の利便性向上のため、時間や場所の制約を受けないサービスの利用が可能となる、オンラインでの利用申込や郷土資料等のデジタルアーカイブを導入する。</p>		
スケジュール	R7	R8	R9
			
目標値 (見込値)	内容		
	R7	R8	R9
	—	—	—
現況値 (見込値)	R6		

施策体系2 しごとのDX ～誰もが活躍できる魅力あるまち～

取組 NO.	10		
取組項目	市内中小企業等のデジタル化支援		
担当課	産業振興課	区分	新規
事業概要	<p><b>【現状・課題】</b></p> <p>社会全体でデジタル化が急速に進んでいる中、ビジネスにおける価値創出のため、中小企業等においてもデジタル技術の活用が必須となりつつあり、これまでも令和4年度に、(株)STNetと市内中小企業等のデジタル化の推進等に関する協定を締結し、市内中小企業等のデジタル化のサポートを実施している。また、令和2年度から5年度にかけては、市内中小企業等が、自社の課題を解決し、生産性の向上に取り組むためのITツール導入に係る経費を支援するため、「中小企業等デジタルシフト事業補助金」を実施した。</p> <p>今後とも、デジタル技術を活用した各種課題解決に取り組む市内中小企業等への支援が必要である。</p>		
	<p><b>【取組内容】</b></p> <p>(株)STNetと締結している市内中小企業等のデジタル化の推進等に関する協定に基づく取組を継続する。</p> <p>また、社会全体でデジタル化が進展する中、中小企業等における従業員のデジタル基礎知識の習得を推進し、リスクリングに取り組む企業の拡大を図るため、ITパスポート等の合格に向けた取組の支援を行う。</p>		
スケジュール	R7	R8	R9
	協定に基づく取組の継続		
	ITパスポート試験等取得支援補助金の交付		
目標値 (見込値)	内容		
	補助対象者数(人)		
	R7	R8	R9
	140人	140人	140人
現況値 (見込値)	R6		
	76人		

取組 NO.	11		
取組項目	購買データの活用によるサービス提供		
担当課	デジタル戦略課	区分	新規
事業概要	<p><b>【現状・課題】</b></p> <p>レシート情報を中心とした購買データを分析し、その他の顧客データ等と組み合わせることで、顧客のニーズを把握し、より効果的なマーケティングを行うことを目的に、令和4年度に本市が行ったデジタル商品券事業にて、約30万枚のレシートデータを収集し、スマートシティたかまつ推進協議会内にワーキンググループを設置し、同データの効果的な利活用方法について検討してきた。</p> <p>なお、現時点で効果的なレシートデータの利活用方法については、明確な手法を確立できておらず、引き続きワーキンググループでの検討を進めることにより、購買データを活用した店舗事業者の新たな商品・サービスの創出や、それを支える購買データを把握・活用するための仕組みづくりが必要である。</p>		
	<p><b>【取組内容】</b></p> <p>事業者の中でも、特に小売店の運営は勘や経験に頼る部分が多く（可視化できる細かいデータが少ない）、データに基づく広告・PR等が難しいといった課題を抱えている。高松市南部3町商店街に焦点を当て、収集したレシートデータの分析を進めることで、商店街のプロモーション企画に必要なターゲット層やイベント内容の検討を行う。また、継続的に購買データを収集する事業の仕組みについて、スマートシティたかまつ推進協議会のワーキンググループにおいて、官民共同で検討を行う。</p>		
スケジュール	R7	R8	R9
			
目標値 (見込値)	内容		
	—		
	R7	R8	R9
現況値 (見込値)	—	—	—
	R6		
	—		

取組 NO.	12		
取組項目	情報通信関連企業の誘致		
担当課	企業立地推進課	区分	新規
事業概要	<p>【現状・課題】</p> <p>随時、制度の見直し、拡充を図ってきた企業誘致助成制度や企業誘致専門員を中心としたワンストップサービス等により、企業の本市への立地・誘致活動を積極的に推進し、地域経済の活性化、雇用機会の拡大を目指している。</p> <p>その一方で、県内の大学・高等専門学校の卒業生の就職先については、6割程度が県外であることや、情報通信業における産業別就職者の比率が、全国と比べその割合が低いこと等から、若い世代、デジタル人材の県外流出が課題となっている。</p>		
	<p>【取組内容】</p> <p>香川県等の関係機関に加え、令和6年に設置された東京事務所との連携を密にし、若い世代が魅力を感じる働く場の創出や、デジタル人材の育成・確保への効果が期待できる情報通信関連企業の誘致に積極的に取り組む。</p>		
スケジュール	R7	R8	R9
	東京事務所を拠点に東京圏を始めとした大都市圏の情報通信関連企業の誘致活動		
	企業誘致助成制度等を活用した企業誘致活動		
目標値 (見込値)	内容		
	企業誘致助成制度における情報通信関連企業の指定件数(件)		
	R7	R8	R9
	年間5件	年間5件	年間5件
現況値 (見込値)	R6		
	5件		

取組 NO.	13		
取組項目	サテライトオフィスの誘致		
担当課	企業立地推進課	区分	新規
事業概要	<p><b>【現状・課題】</b></p> <p>若い世代やデジタル人材の県外流出が課題となっている本市は、香川県等と連携し、若い世代が魅力を感じる大都市圏の情報通信関連企業の誘致に積極的に取り組んでいる。</p> <p>情報通信関連企業の本市への本格的な進出の足掛かりとなるサテライトオフィスの設置を促すため、サテライトオフィス利用及びお試し移住支援金制度により県外企業のサテライトオフィス設置のための支援を行っているところである。支援期間終了後も支援対象企業のうち大多数の企業が、本市での事業活動を継続する等、一定の効果を実感しており、引き続き支援を行う必要がある。</p>		
	<p><b>【取組内容】</b></p> <p>支援制度の傾向やアンケート調査結果等を踏まえ、令和6年度まで実施していたサテライトオフィス利用及びお試し移住支援金制度から、事業活動への支援により重点をおいたサテライトオフィス利用支援制度へと制度の見直しを行い、当該制度を活用したスタートアップを含む情報通信関連企業等の本市へのサテライトオフィス誘致に、東京事務所と連携し、取り組む。</p>		
スケジュール	R7	R8	R9
	<p>サテライトオフィス利用支援制度の開始</p> <p>サテライトオフィス利用支援制度を活用したサテライトオフィスの開設支援</p>		
目標値 (見込値)	内容		
	サテライトオフィス利用支援制度の指定件数（件）		
	R7	R8	R9
	年間5件	年間5件	年間5件
現況値 (見込値)	R6		
	7年度開始制度のためなし * 現行制度5件		

取組 NO.	14		
取組項目	スマート農業の推進		
担当課	農林水産課	区分	新規
事業概要	<p><b>【現状・課題】</b></p> <p>データを活用した農業を行っている経営体の割合（2020 農林業センサス）においては、香川県が 10.7%で最下位、高松市も 9.5%となっており、本市においては、スマート農業が普及していない現状にある。</p> <p>これまでには、スマートシティたかまつ推進協議会内に、スマート農業ワーキンググループを設置し、意欲ある農業者の協力を得て、システムの試験導入を行い、評価・検証を行ってきた。また、農作業の省力化や農作物の高品質化等を図るために、ロボット、AI、IoT等、先端技術を活用する農業（スマート農業）に取り組む認定農業者等の担い手に対し、導入経費の一部を補助し、スマート農業システムの導入を支援している。</p>		
	<p><b>【取組内容】</b></p> <p>引き続き、スマート農業に取り組む認定農業者等の、経費の一部を補助する補助事業を実施し、スマート農業システムの導入を支援する。</p> <p>また、香川県や関係団体と連携し、勉強会等を実施し、スマート農業システムの普及活動を行う。</p>		
スケジュール	R7	R8	R9
	スマート農業システムの導入支援		
	関係機関との連携した勉強会等の実施		
目標値 (見込値)	内容		
	スマート農業導入経営体数(経営体)		
	R7	R8	R9
	33 経営体	37 経営体	41 経営体
現況値 (見込値)	R6		
	28 経営体		

取組 NO.	15		
取組項目	デジタルを活用した高松盆栽の普及事業		
担当課	農林水産課	区分	新規
事業概要	<p>【現状・課題】</p> <p>高松盆栽の振興については、高松盆栽産地ブランド確立事業として、「高松盆栽の郷」基本構想に基づき、関係団体及び盆栽生産者と連携しながら、盆栽文化の一層の普及・定着による「高松盆栽の郷」の産地そのもののブランド化に向け、総合的な振興施策に取り組んできた。</p> <p>なお、盆栽生産者の高齢化や後継者不足、盆栽生産量の低迷等の課題も顕在化しており、今後の盆栽産業の存続に不安が生じる状況となっている。このため、担い手不足の解消や、高松盆栽の魅力をより身近に感じてもらうための普及施策を検討し、持続可能な盆栽産地の形成に向けた取組が必要となっている。</p>		
	<p>【取組内容】</p> <p>瀬戸内国際芸術祭（秋会期）の開催に合わせて、ホテル、レストラン、空港ラウンジ、商店街、盆栽園等に高松盆栽を展示し、それらの展示場所 20 か所程度を対象に、アプリを活用したデジタルスタンプラリーを実施する。</p>		
スケジュール	R7	R8	R9
	デジタルスタンプラリーの実施	高松盆栽の普及施策検討	
目標値 (見込値)	内容		
	「高松盆栽の郷」の売上金額（円）		
	R7	R8	R9
	6,200 万円	7,200 万円	8,000 万円
現況値 (見込値)	R6		
	5,600 万円		

取組 NO.	16		
取組項目	音声ガイドアプリを活用したコンテンツツーリズムの推進		
担当課	観光交流課	区分	新規
事業概要	<p><b>【現状・課題】</b></p> <p>これまで瀬戸内国際芸術祭では、男木島・女木島ともに会場となり、大勢の観光客を集め、現在もアート作品の島として国内外からの注目を浴びている。</p> <p>一方、島の観光を安全・安心・快適に楽しむための観光資源やインフラを維持管理する負担は年々増加する中、両島の人口は減少傾向にあり、芸術祭会期外の地域活性化が課題になっていることから、島の観光資源やインフラを活用した、関係人口や移住者の創出が求められている</p>		
	<p><b>【取組内容】</b></p> <p>地元観光協会と連携の上で、男木島を舞台としたゲーム作品とコラボし、男木島灯台等の地域資源について、ゲームに登場するキャラクターの音声案内が流れる音声ガイドアプリを整備する。</p> <p>本市を舞台としたコンテンツツーリズムの取組の1つとして、同アプリを活用することで、広く市域全体にも活用できるような仕組みや内容を検討する。</p>		
スケジュール	R7	R8	R9
目標値 (見込値)	内容		
	男木島灯台資料館来場者数（人）		
	R7	R8	R9
	10,000 人	6,000 人	7,000 人
現況値 (見込値)	R6		
	5,000 人		

取組 NO.	17		
取組項目	屋島活性化に向けたデジタル活用		
担当課	観光交流課 観光エリア振興室	区分	新規
事業概要	<p><b>【現状・課題】</b></p> <p>屋島山上と山麓を結ぶシャトルバスの運転手不足や、観光客の増加に伴う渋滞等の屋島山上への交通アクセスの課題解消に向け、令和5年度に自動運転バスの実証調査を実施した。</p> <p>今後、自動運転バスの実装を推進するに当たっては、来訪者の多いシーズンにも対応可能な定員を備えた車両を確保する必要性、屋島山上に発生する濃霧等の厳しい環境条件下での運用に耐える高度な自動運転の制御技術の必要性、運行コストを明確にする必要性等の課題がある。今後とも本市の観光資源である屋島の魅力向上に資する取組として、自動運転バスの実装に向けた検討を進める必要がある。</p>		
	<p><b>【取組内容】</b></p> <p>令和6年度に実施するリスクアセスメント、3Dマップ作成、需要予測及び事業性検討に関する調査結果と、関係団体等で構成される地域コミッティでの議論の結果を考慮し、令和7年度以降に、現在シャトルバスが運行している屋島山上駐車場からことでん屋島駅までの間で、レベル2運行での実証調査を開始し、将来的には上記区間でレベル4運行での実装化を目指す。</p>		
スケジュール	R7	R8	R9
			
目標値 (見込値)	内容		
	—		
	R7	R8	R9
現況値 (見込値)	—	—	—
	R6		
	—		

施策体系 3 行政の DX ～市民目線によるスマートな行政～

取組 NO.	18		
取組項目	市からの情報発信の高度化		
担当課	広聴広報・シティ プロモーション課	区分	新規
事業概要	<p><b>【現状・課題】</b></p> <p>情報の入手手段が、若者を中心にスマートフォンへと急速に移行していること、また、市政に関する情報等を分かりやすく、タイムリーかつ効果的に提供することで、市民との情報共有を図ることを目的として、市公式 LINE による情報発信を推進している。</p> <p>市公式 LINE での情報発信を推進する一方で、登録者数が伸び悩んでいる状況であることから、より認知度の向上が必要である。また、市公式ホームページの情報量が非常に多く、市民が知りたい情報にたどり着くことが難しく、ホームページの在り方についても検討が必要である。さらには、市から発信する情報の高度化・効率化に向けて、市公式 LINE の積極的な活用や市公式ホームページの改善を図ることが必要である。</p>		
	<p><b>【取組内容】</b></p> <p>市からの情報発信の高度化・効率化に向けて、市民に市公式 LINE をより活用してもらうための認知度の向上、市公式ホームページの課題の改善について検討を行う。</p>		
スケジュール	R7	R8	R9
			
目標値 (見込値)	内容		
	市公式LINE登録者数(人)		
	R7	R8	R9
	19,000人	22,000人	25,000人
現況値 (見込値)	R6		
	16,000人		

取組 NO.	19		
取組項目	窓口 DX の推進		
担当課	デジタル戦略課 市民課	区分	新規
事業概要	<p><b>【現状・課題】</b></p> <p>行政窓口に対する市民ニーズは多様化しており、持続可能な行政サービスの提供に向けた業務改革が重要となっている。また、窓口業務については、業務構造が複雑化していること等から、根本的な課題解決には継続的な BPR を実施し、職員のマインドセットや業務フローの見直し等、包括的な取組が必要である。</p> <p>このようなことから、令和 5 年度にデジタル庁の窓口 BPR アドバイザー派遣事業を利用して窓口体験調査を実施し、市民目線による現状の把握を行った。また、令和 6 年 1 月には、窓口 DX 推進プロジェクトチームを設置し、「市民にも職員にも優しい窓口」を目標に取組を推進している。</p>		
	<p><b>【取組内容】</b></p> <p>行政サービスの基本となる住民異動や戸籍の届出、各種証明書の交付申請等、連日多くの市民が訪れる市民課業務から取組を開始する。市民課を起点として、業務の棚卸を実施し、複雑化した業務構造を整理するとともに、それぞれの業務フローを把握することに取り組む。</p> <p>課題を発見・分析した上で、新たな業務フローの再構築を行い、一連の業務フローから簡易に切り分け可能なレイアウトや掲示物等の部分については、アナログでの BPR を検討・実施し、適切なソリューションの導入を検討する。</p>		
スケジュール	R7	R8	R9
目標値 (見込値)	内容		
	—		
	R7	R8	R9
現況値 (見込値)	—	—	—
	R6		
	—		

取組 NO.	20		
取組項目	業務改革に資するツール等の導入		
担当課	情報マネジメント課	区分	新規
事業概要	<p><b>【現状・課題】</b></p> <p>人口減少や少子・超高齢社会の到来により、生産年齢人口が減少する中、限られた財源や職員数においても行政サービスを維持・向上していくには、効率化による業務改革を実現する環境の整備が必要である。</p> <p>昨今、生成 AI の登場等、我々の働き方の改革に資するような先端技術が生まれているが、それらの導入に当たっては、適切なツールかどうかの検討やルール作りも必要である。</p>		
	<p><b>【取組内容】</b></p> <p>職員の提案や相談等から、業務改革に資する新たなツールやサービスについて、調査や検討等を行う。</p>		
スケジュール	R7	R8	R9
			
目標値 (見込値)	内容		
	—		
	R7	R8	R9
	—	—	—
現況値 (見込値)	R6		
	—		

取組 NO.	21		
取組項目	地理空間データ基盤のデータ・機能拡充		
担当課	都市計画課 デジタル社会基盤整備 室	区分	新規
事業概要	<p>【現状・課題】</p> <p>人口減少、少子・高齢化社会の本格的な到来を見据え、持続可能なまちづくりを進めるため、本市が所有するインフラ台帳を電子データ化し、インターネット上のオープンデータとして利活用できる地理空間データ基盤を整備し、バックヤード側の業務のBPRに取り組んでいる。</p> <p>現在、道路台帳や都市計画基本図等のインフラデータ、交通情報、施設情報等を基盤上に登載し運用しているが、更なる都市経営の最適化を進めていくためには、同基盤に登載するデータの拡充や機能拡充が必要である。</p>		
	<p>【取組内容】</p> <p>公園や河川等の新たなインフラデータの地理空間データ基盤への登載・最適化について検討を進め、同基盤に必要な機能の拡充についても合わせて検討を行い、業務のBPRに取り組む。</p>		
スケジュール	R7	R8	R9
目標値 (見込値)	内容		
	地理空間データ基盤に登載した官民の地図情報等の数 (件)		
	R7	R8	R9
	60 件	75 件	90 件
現況値 (見込値)	R6		
	45 件		

施策体系 4 人材育成と基盤強化 ～持続可能な社会の形成～

取組 NO.	22		
取組項目	デジタル化への職員の意識改革（デジタル人材の育成）		
担当課	デジタル戦略課	区分	新規
事業概要	<p><b>【現状・課題】</b></p> <p>組織内ではデジタル化への温度差が大きく、年齢層や個人によってデジタルスキルと受容性に大きな差があり、新しいデジタル技術やツールの導入に対して、不安や戸惑いを感じている職員も多い。また、従来からの業務手法を変えることに抵抗感を持ち、脱却しようとしにくい保守的な組織文化が残っているのも課題である。</p> <p>そのため、DX の基礎的な共通理解の形成や実践意識の醸成等を図ることを目的として、令和 4 年度からデジタル人材育成研修を実施し、職員の意識改革とデジタル人材の育成・活用に取り組んでいる。</p>		
	<p><b>【取組内容】</b></p> <p>職員の DX に対する認識共有・機運醸成及び業務に対する意識の持ち方を育成するためのマインド研修と、デジタルツールを活用した実際の業務対応スキル向上を目指すツール研修を実施する。</p>		
スケジュール	R7	R8	R9
目標値 (見込値)	内容		
	①累計研修参加人数（人）		
	②研修満足度（点）		
	R7	R8	R9
	①250 人	①350 人	①450 人
	② 5 段階評価で 3.5 以上	② 5 段階評価で 3.5 以上	② 5 段階評価で 3.5 以上
現況値 (見込値)	R6		
	①150 人		
	②—		

取組 NO.	23		
取組項目	デジタル化に対応した職員の情報セキュリティ意識の向上		
担当課	情報マネジメント課	区分	新規
事業概要	<p>【現状・課題】</p> <p>昨今の情報セキュリティを取り巻く環境においては、情報セキュリティ対策に終わりはなく、情報資産を適切に管理し、情報セキュリティに対して真剣に取り組むことが重要である。行政サービスの質を損なうことなく、情報セキュリティを確保していくには、職員全員が情報セキュリティに対する意識向上を図り、継続的な改善活動を行う等、市全体の情報セキュリティレベルの向上が必要である。</p>		
	<p>【取組内容】</p> <p>高松市情報セキュリティ対策基準に基づき、毎年度、情報セキュリティに関する研修・訓練や自己点検を実施する。</p> <p>また情報セキュリティ対策において不十分なところを把握し、改善につなげるための外部・内部監査を実施する。</p>		
スケジュール	R7	R8	R9
			
			
目標値 (見込値)	内容		
	—		
	R7	R8	R9
現況値 (見込値)	—	—	—
	R6		
	—		

取組 NO.	24		
取組項目	スマートシティたかまつ推進協議会との連携		
担当課	デジタル戦略課	区分	新規
事業概要	<p><b>【現状・課題】</b></p> <p>平成 29 年に設立された産学民官の多様な主体で構成されるスマートシティたかまつ推進協議会と連携しながら、ICT やデータを活用した地域課題の解決に向け、これまで様々な分野で取組を推進してきた。</p> <p>設立から 7 年ほどが経過し、協議会会員も増加し、デジタル社会を取り巻く情勢も大きく変化してきたことにより、協議会の目的が薄れてきている。また、設立当初に比べ、ワーキンググループでの検討等、協議会活動が低迷しており、持続的な協議会運営を進めていくためにも、協議会活動の活性化が必要である。</p>		
	<p><b>【取組内容】</b></p> <p>行政主導の下、様々な主体の積極的かつ自発的な行動につながるような手法の検討や働きかけを実施する。</p> <p>具体的には、行政が把握している地域課題や行政課題を明確化し、協議会会員に提示することで、協議会会員からの解決策の提案を募ることにより、行政が主導的な役割を果たし、協議会活動の活性化を推進する。</p>		
スケジュール	R7	R8	R9
			
目標値 (見込値)	内容		
	本市から協議会会員への課題提示件数の累計 (件)		
	R7	R8	R9
	5 件	6 件	7 件
現況値 (見込値)	R6		
	4 件		

取組 NO.	25		
取組項目	オープンデータの推進		
担当課	デジタル戦略課	区分	新規
事業概要	<p><b>【現状・課題】</b></p> <p>新たなサービスの創出や既存サービスの高度化に向けて、行政が保有するデータを利用しやすい形で、積極的にオープンにすることが求められており、これまでもオープンデータ化の取組を推進してきた。</p> <p>本市では、平成 31 年にオープンデータサイト「オープンデータたかまつ」を構築し、年々データの拡充を行い、着実にオープンデータの利活用を促進しているが、オープンデータを活用した民間事業者等のサービスの実現には至っていない。</p>		
	<p><b>【取組内容】</b></p> <p>利用者ニーズも反映しながら、本市が保有するデータは引き続き可能な限りオープンデータ化を図り、他都市の事例調査も含め、オープンデータの拡充を行う。</p> <p>また、オープンデータを活用したサービスの創出・高度化につながるような仕組みづくり等の促進手法について検討を行う。</p>		
スケジュール	R7	R8	R9
	<p>オープンデータの拡充・拡充検討</p> <p>オープンデータ利活用を促進する仕組みづくり等の検討</p>		
目標値 (見込値)	内容		
	オープンデータ数 (件)		
	R7	R8	R9
	278 件	308 件	338 件
現況値 (見込値)	R6		
	248 件		

取組 NO.	26		
取組項目	地域間連携の促進		
担当課	デジタル戦略課 政策課	区分	新規
事業概要	<p><b>【現状・課題】</b></p> <p>本市は、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の「連携中枢都市」として、圏域の発展に向けた中心的な役割を担い、関係市町との連携強化を図ってきた。</p> <p>また、スマートシティやデジタルの分野では、綾川町及び観音寺市と、本市の IoT 共通プラットフォームの共同利用を行い、防災分野の連携を進めている。さらに、官民連携・広域連携による新たな DX 推進体制である「かがわ DX Lab」へ参画することで、香川県及び県内市町との連携、官民連携の取組推進を図っている。</p> <p>引き続き、更なる地域間連携を深め、課題やノウハウを共有することで、取組の高度化・広域化やサービスの持続が必要である。</p>		
	<p><b>【取組内容】</b></p> <p>近隣の 3 市 5 町で形成する瀬戸・高松広域連携中枢都市圏においては、圏域で抱える地域課題の解決を図るため、スマートシティたかまつ推進協議会と連携しながら、様々な分野のデータの連携に向けた検討、データの収集・分析等を行う。</p> <p>また、かがわ DX Lab ワーキンググループに積極的に参画する等、引き続き、他の自治体や団体との連携を深め、課題やノウハウの共有を行い、官民連携・広域連携による検討や取組を行う。</p>		
スケジュール	R7	R8	R9
	瀬戸・高松広域連携中枢都市圏における取組の推進		
	かがわ DX Lab ワーキンググループ等への積極的な参加		
目標値 (見込値)	内容		
	他市町と連携して収集・分析する 地域課題の解決につながるデータ分野数 (分野)		
	R7	R8	R9
	2 分野	3 分野	3 分野
現況値 (見込値)	R6		
	1 分野		

取組 NO.	27		
取組項目	データ利活用人材の育成と人材コミュニティの創出		
担当課	デジタル戦略課	区分	新規
事業概要	<p><b>【現状・課題】</b></p> <p>スマートシティの取組を推進していくに当たっては、ICT の専門知識だけでなく、様々な分野で課題を明確化し、課題解決のための具体的な手法を考えることのできる人材の発掘と育成が重要である。</p> <p>これまでも本市では、スマートシティたかまつ推進協議会との連携の下、アイデアソンやハッカソンの開催及び協議会内に設置されたワーキンググループにおいて、産学民官の連携による効果的な人材育成手法を検討してきた。また、本市在住の小学生を対象とした「たかまつ KIDS プログラミングコンテスト」も令和2年度から毎年開催している。</p> <p>今後ともスマートシティ推進を支える人材の確保や育成に向けた効果的な取組について検討・実施が必要である。</p>		
	<p><b>【取組内容】</b></p> <p>スマートシティたかまつ推進協議会や香川大学等と連携し、引き続きデータ利活用人材の発掘・育成、及びそれら人材のコミュニティづくりに資する講座を開催する。</p> <p>また、子どもたちがデジタル技術に触れ、スマートシティを知るきっかけづくりとして、本市在住の小学生を対象とした「たかまつ KIDS プログラミングコンテスト」を開催する。</p>		
スケジュール	R7	R8	R9
目標値 (見込値)	内容		
	データ利活用人材の育成や発掘に関連する講座等への参加者数 (人)		
	R7	R8	R9
	134 人	139 人	144 人
現況値 (見込値)	R6		
	129 人		

取組 NO.	28		
取組項目	地域コミュニティを中心としたデジタルデバインド対策		
担当課	デジタル戦略課	区分	新規
事業概要	<p><b>【現状・課題】</b></p> <p>スマートシティの取組推進、行政サービスのオンライン化やデジタル化を推進する中、一部の利用者にとっては、サービスを受ける手段であるスマートフォン等のデジタル機器が十分に活用されていない状況にある。特に高齢者等で、デジタルデバインド（情報格差）が懸念されることから、それらの利用者を取り残さないための環境構築が必要である。</p> <p>これまでも、地域コミュニティを中心とした、各地域の実情に応じた支援や、デジタルの活用の不慣れな地域住民をサポートする体制の構築検討等を行ってきたが、各地域内でそれらの体制を持続できる環境の構築には至っておらず、引き続き「誰一人取り残されない」デジタルデバインド対策が必要である。</p>		
	<p><b>【取組内容】</b></p> <p>民間事業者、地域住民との連携の下、地域の実情やニーズに応じた地域コミュニティにおけるデジタルデバインド対策の取組実施・推進体制の構築を支援する。</p>		
スケジュール	R7	R8	R9
目標値 (見込値)	内容		
	取組を支援した地域コミュニティ協議会の累計数（地域）		
	R7	R8	R9
	19 地域	23 地域	27 地域
現況値 (見込値)	R6		
	15 地域		

取組 NO.	29		
取組項目	地域コミュニティのデジタル化支援		
担当課	協働コミュニティ 推進課	区分	新規
事業概要	<p><b>【現状・課題】</b></p> <p>地域コミュニティの運営において、地域の担い手不足や、地域の要求による事務作業の煩雑化等、コミュニティ協議会職員の業務負担が課題となっている。デジタル技術を活用することで、情報伝達力の向上や新たな地域人材との関係づくり、地域コミュニティ協議会における業務負担の軽減が必要となっている。</p> <p>地域コミュニティ協議会のデジタル活用を推進するため、令和6年度より、地域まちづくり交付金において、デジタル活用加算を創設し、地域コミュニティ協議会のデジタル活用を促進している。</p>		
	<p><b>【取組内容】</b></p> <p>引き続き、地域まちづくり交付金事業において、令和6年度創設したデジタル活用加算を活用してもらうことにより、地域コミュニティ協議会のデジタル活用によるまちづくりの普及を促す。</p>		
スケジュール	R7	R8	R9
目標値 (見込値)	内容		
	デジタル加算事業を活用した協議会数の累計（件）		
	R7	R8	R9
	27件	27件	27件
現況値 (見込値)	R6		
	18件		